

OMM JAPAN2017 参加のための承諾条項

●参加条項

参加者は以下の条項に同意したうえで参加申込みをしてください。

1. 本レースが極めて悪条件のもとで開催される可能性があることを理解し、競技続行、棄権の決定は自ら判断すること。ただし競技役員によりレース続行不可と判断された場合はそれに従うこと
2. レース開催地域の環境、および天候のいかんに関わらず、それらに対処する十分な装備、技術、経験を備え、服装および装備のルールに従い、必携装備リストの装備を全て揃えること
3. 健康な状態で参加すること
4. 参加者に十分な経験がないと大会本部が判断する場合は、レースへの参加を中止させることやルールから逸脱した場合失格になること
5. 年齢・性別の虚偽申告、申込者本人以外の出場(不正出場)は認めません。クラス・参加者変更は開催2週間前までに行うこと
6. 未成年者は、保護者の同意を得て参加すること
7. 大会出場中の選手の映像、写真、記事、記録などのテレビ、新聞、雑誌、インターネットなどへの掲載権は主催者に属するものとします。
8. 参加費はいかなる理由でも返金しませんので、参加申込みの際はご注意ください。
9. 気象警報発令時等があった場合、大会主催者はレースを中止ないし、短縮する可能性があります。

このレースは全参加者がフェアプレー精神をもちかつ安全を確保しながら、競技中の行動、装備に責任を持つというルールを守ることで成り立っています。これらのルールに違反する行為を見つけた場合は即失格とし、今後、本レースへの出場が許されない場合があります。

詳細は以下の基本ルールをご覧ください。

1. ●基本ルール Straight クラスは健康な18歳以上、Scoreは15歳以上であれば参加できます。但し、各チームに成人が最低1人必要です。また未成年者は保護者の同意が必要です。
2. Straight クラスでは1日10時間以上の行動ができる体力とナビゲーションの知識とスキルが必要不可欠です。Score クラスではナビゲーションの知識・スキルが必要不可欠です。
3. チームメンバーは常に一緒に行動してください。コース中では常にお互いの声が届く範囲に収まってください。チームのメンバーの1人が健康上の理由(怪我、疲労、脱水症状など)でレースを続行できなくなった場合は、即座にレースを中断し、安全な場所で待機、場合によってはビバークを行ってください。地図には緊急連絡用の電話番号を記入してあります。携帯電話は谷や山の斜面の陰になる一部の場所を除きほとんどのエリアで利用可能ですので積極的に本部と連絡を取ってください。
4. 地図上で示された立入禁止エリアには立ち入らないでください。立入が発覚した場合失格となります。
5. 全てのチームは、指定された衣類、装備、2日間の食料、緊急用の食料、着替えなどを全て着用、または持ち歩かなくてはなりません(つまりザックのデポは不可です)。装備チェックは受付前の出場登録時に各チームの責任で行ってください。
6. ペットを連れての出走は禁止します。
7. レース前に競技エリアに立ち入ることは禁止します。
8. 携帯電話などの通信デバイスの携帯は、指定されたキャンプ地内および怪我人や急病人の発見、自然災害などの緊急時を除き、競技中の音声通話、データ通信は禁止とします。またこれが確認された場合は失格となります。またGPS機器

の携帯は OMM 全世界共通ルールとして可能ですが、あくまで緊急およびログ取得用であり、競技中のナビゲーション目的で使用することは禁止とします。

9. 仮装や裸での出走やその他公序良俗に反する行為があった場合、他のチームを危険にさらした場合は失格とし、今後の本レースへの出場が許されない場合があります。
10. すべてのチームは競技中いかなるときでも大会役員係員による装備チェックを受ける可能性があります。装備品の不足などルール違反が見つかった場合は失格となります。
11. レース終了時も緊急用の食料を所持している必要があります。
12. キャンプサイトでは 21 時以降は騒音となるような大きな声、音をたてないでください。
13. コントロールに設定される関門の閉鎖時刻、フィニッシュ閉鎖時刻は地図上に明記されます。完走が難しいチームに対しては大会役員係員の判断でコースのショートカット、または棄権の判断を促す場合があります。

● 装備について

下記の装備リストは必要最小限のリストに過ぎません。11 月中旬、標高 2500m を越えるエリアで 2 日間にわたり開催されるサポートのないレースであることを十分に理解し、自身の安全を確保できる必要な装備を参加者自身で決定し携行してください。(参加者自身で天気予報を確認し、これまでに培ったアウトドアでの適切な判断力によって、身に着けるべき装備および携行すべき装備を整えること。)

なお、主催者は参加者の安全確保のため非常時に必要となる装備がない場合、ルール違反があった場合、レースへの参加拒否及び中止させる権利を有しています。

個人で必携するもの

- ・水または飲み物(2L 以上推奨。1 日目のキャンプ地で水を補給できます。)
- ・コンパス(方位磁石)
- ・地図(主催者が用意、スタート時に配布)
- ・透湿・防水性のあるジャケットとパンツ (シーム処理の施された完全防水製品に限る)
- ・予備のベースレイヤー
- ・予備のフルレグタイツ
- ・上半身用防寒ウェア(ダウンや化繊など)
- ・帽子&手袋&靴下&シューズ(踏み抜きしにくいシューズ推奨)
- ・寝袋
- ・エマーゼンシーシート(袋状のものに限る)、又は防水シェラフカバー
- ・リュックサック
- ・健康保険証(コピー可)
- ・笛
- ・ファーストエイドキット(ばんそうこ、包帯、テーピングテープなど)
- ・ライト&電池(12 時間以上使用できること)
- ・行動食
- ・携帯電話
- ・熊鈴

※予備の防寒着および寝袋はドライバック等に入れて防水する必要があります。

チームのどちらかが必ず携帯するもの

- ・食料(36時間分) + 1 日分の予備の食料

- ・お湯を沸かせるクッカー、燃料
- ・テント(チームで1つのみ)
- ・四方を同時に壁として風を遮ることのできるテント、またはシェルター

床のないシェルター、ツェルト等はかならず別途グラウンドシートを使用すること

※2017年大会のキャンプ予定地標高は約1300m~1400m、ひらけた牧草地帯でのワイルドキャンプを予定しています。雨天の場合は地面がかなり“ぬかるんだ”状態になることも予想されます。その場合はグラウンドシートだけでは対応できない可能性も高くなります。そのため大会運営としては今年のキャンプではバスタブフロア付の防水性の高いテントの使用を推奨します。

●チームワーク

このレースはチーム競技です。パートナーに問題が発生した場合、あなたが最初の救援者となります。パートナーの状態把握と必要に応じたケアを常に意識してください。特に低体温症であることの判断は本人では難しいことがあります。

●通信機器やGPSの携帯

携帯電話などの通信デバイスの携帯は、指定されたキャンプ地内および怪我人や急病人の発見、自然災害などの緊急時を除き、競技中の音声通話、データ通信は禁止とします。またこれが確認された場合は失格となります。またGPS機器の携帯はOMM全世界共通ルールとして可能ですが、あくまで緊急およびログ取得用であり、競技中のナビゲーション目的で使用することは禁止とします。

●SIチップ

一度受付にて出場登録したチームは、コースを完走した場合でも完走できなかった場合でも、計測チップであるSIチップをフィニッシュ係員へ返却してください。SIチップの返却は、皆さんが帰還したことを確認するための唯一の手段です。もし返却がない場合は、遭難者として扱われ捜索対象となり、救援費用が発生する場合があります。

またレース中はもちろん、スタート前、キャンプ中にSIチップを紛失した場合は、いかなる理由でも失格として扱われ、SIチップ代金5000円を請求します。

●アウトドアでの適切な判断

チームメンバーの1人が、怪我や急病はもちろん、疲労で苦しんでいる場合は、無理に先へ進まないでください。各チームで用意した飲食物を適宜食べ、長時間の行動に備えてください。寒さや雨の場合にも備え、十分な数の防寒具および雨具を用意し、必要に応じて着用してください。

競技中にどのようなリスクがあるか知っていること、自分の限界を知ること、天候等の状況変化を常に把握すること、自然の中では「その時」になってからでは遅いことを踏まえて、これから起こることを常に予測することによって競技中のリスクを適切にコントロールすることができます。

競技に夢中になり、みなさんが本来の取るべき行動をおろそかにしないでください。チームごとに熟練度は異なります。スタート時刻も異なっています。目の前の相手と競い合うことが適切とは限りません。競技中の自分の安全を守るために最善の行動を判断することが参加者に求められます。

●緊急時の対応について

重大な事故の発生や急病による重症化など緊急事態が発生した場合は山岳救助隊や救急隊を要請しますが、悪天候時やコース上でビバークする場合、リタイアしてフィニッシュや大会本部に向かう場合などに、大会主催者は特別な措置を用意しません。各チームまたは個人で安全を確保することが原則です。

2日目のフィニッシュ閉鎖時間までに戻ることができない場合は積極的に大会本部と連絡を取り合ってください。連絡が取れない

い場合は遭難者として捜索対象になる場合があります。万が一、フィニッシュと連絡が取れず日没を迎えた場合は、テントなどの野営装備を利用してビバークし、その場に留まり救援を待ってください。

●自然へのローインパクト

ゴミは絶対に捨てないで下さい。落とし物にも注意をし、他者のゴミが落ちていた場合は拾うよう心掛けて下さい。1日目のキャンプ地でもゴミ箱は設置しません。

コース上および周辺エリアの動植物の採取や損傷を与える行為は禁止します。

競技用の靴は底をよく洗って、よその土や植物のたね等を当該地域に持ち込まないこと。

以上